

令和5年2月14日

狛江市長
松原俊雄様

狛江市男女共同参画推進委員会
委員長 下田 禎敏

狛江市の男女共同参画にかかる提言について（答申）

令和3年7月2日付け狛企政発第000268号にて狛江市長より諮問のあった「男女共同参画に係る計画の推進に関する事及び男女共同参画社会の実現に関する事」について、当委員会において審議を重ねた結果、別紙のとおり答申としてまとめましたので、報告いたします。

狛江市の男女共同参画にかかる提言について

狛江市男女共同参画推進委員会は、市長より諮問を受け、狛江市の男女共同参画社会の実現に向けて議論を重ねました。市民とともに男女共同参画社会を実現していくために、下記のように提言します。

「もやもや・おかしいを見過ごさず、 『わたし』が動く男女共同参画社会を目指して」

【提言】個性と多様性を尊重し、前向きに生きがいを感じられる男女共同参画社会の実現に向けた取組の強化

<具体的提言>

1. アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）の解消ができていますか

・女性活躍推進のためにはアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）の解消が必要であることから、まずは市民一人ひとりが自分の中にある無意識の思い込みや偏見に気づくことができるように、正しい知識の周知、啓発を図ること。

2. 性別に関わりなく、多様性を尊重し合い、誰もが個性や能力を発揮できているか

・自分らしい多様な生き方をデザインできる社会を実現するために、男女共同参画推進計画の更なる推進を図ること。

・それぞれの人が持つ多様性を認めるために、SNS等を活用した周知・啓発を行うとともにLGBTQ当事者等、誰もが悩みを相談できる環境を整備すること。

3. 家庭、学校、地域等において男女共同参画意識の醸成を図れているか

・男女共同参画の視点に立った広報活動のさらなる充実を図るとともに、ターゲットに合わせた効果的な啓発活動を行うこと。

・女性の防災に係る活動への参画等、男女が対等な立場で様々な活動に参画できるような環境づくりを推進すること。